

沖縄地方の天候

2023 年（令和 5 年）2 月と冬（2022 年 12 月～2023 年 2 月）

令和 5 年 3 月 6 日 沖縄気象台

【 2 月 】

天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
日々の天気図（午前 9 時）・気象概況	3
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	5
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	6
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	7
極値・順位値更新表（月）・生物季節観測表	8

【 冬 】

冬の天候	9
------	---

※本報告は令和 5 年 3 月 3 日時点の資料で作成したものです

本件担当：沖縄気象台 地球環境・海洋課
お問い合わせ先：098-918-4012

天 候 経 過 (月のまとめ)

【2月】

沖縄地方は期間の前半は大陸の高気圧の張り出しが弱かった一方で、前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多かった。期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日もあり、天気は数日の周期で変わった。

沖縄地方の平均気温は、期間の前半を中心に寒気の影響を受けにくかったことから、地域平均年間差は+1.1℃で高かった。降水量は、低気圧や前線の影響を受けにくく、まとまった雨となりにくかったため、地域平均年間比は59%で少なかった。西表島と鏡原では月降水量の少ない方からの2月としての極値を更新した。日照時間は、中旬は高気圧に覆われて晴れた日もあったため多かったが、上旬は少なく、地域平均年間比は91%で平年並だった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	19.0	+1.5	++	77.5	68	-	104.6	112	0
名 護	18.4	+1.6	++	83.0	76	0	94.9	104	0
久米島	19.0	+1.7	++	98.0	69	0	86.1	107	0
南大東島	19.3	+1.2	+	23.5	29	-	103.3	86	-
宮古島	19.7	+1.1	+	57.0	48	-	60.4	67	-
石垣島	20.1	+0.7	+	54.5	44	-	70.9	78	-
西表島	19.6	+0.6	+	41.5	28	--	70.3	85	0
与那国島	19.5	+0.5	+	132.0	81	0	51.5	85	0
沖縄地方		+1.1	+		59	-		91	0

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++:かなり高い(かなり多い)、+:高い(多い)、0:平年並、
 -:低い(少ない)、--:かなり低い(かなり少ない)
2. 「降水量」欄の「-」は無降水を示す。
3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている)を意味し、階級についても値と同様の品質である。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
8. 平年値の統計期間は1991～2020年である。

天 候 経 過 (旬別)

【2月上旬】

沖縄地方は大陸の高気圧の張り出しが弱かった一方で、前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多く、沖縄本島地方や与那国地方で大雨となった所があった。

沖縄地方の平均気温は寒気の影響を受けにくかったためかなり高く、降水量は平年並、日照時間は少なかった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	19.4	+2.5	++	68.0	188	+	26.4	94	0
名 護	18.7	+2.6	++	70.0	222	++	24.2	88	0
久米島	19.2	+2.6	++	71.0	162	+	12.7	53	-
南大東島	20.0	+2.4	++	6.0	19	-	48.2	121	+
宮古島	20.6	+2.7	++	8.0	23	-	10.4	36	--
石垣島	21.2	+2.6	+	9.5	22	-	11.6	40	-
西表島	20.4	+2.1	++	15.5	32	-	7.1	27	--
与那国島	20.3	+2.0	+	92.0	175	+	3.5	19	--
沖縄地方		+2.4	++		118	0		51	-

【2月中旬】

沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、期間の中頃と終わりに前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日もあり、天気は数日の周期で変わった。

この時期としては晴れた日が多かったことから、沖縄地方の平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多かった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	19.5	+1.9	++	9.0	19	-	45.0	134	+
名 護	18.9	+2.0	++	13.0	26	-	40.6	120	+
久米島	19.5	+2.1	++	24.0	41	0	42.9	151	+
南大東島	19.5	+1.3	+	7.0	24	-	37.0	88	0
宮古島	19.8	+1.1	+	13.5	31	-	36.9	116	+
石垣島	20.2	+0.7	+	9.0	27	-	51.0	161	+
西表島	19.9	+0.7	+	6.5	14	-	51.8	180	+
与那国島	19.8	+0.7	+	23.5	45	-	36.2	173	+
沖縄地方		+1.3	+		29	-		148	+

【2月下旬】

沖縄地方は、晴れた日もあったが、気圧の谷や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多く、荒れた天気となった所があった。

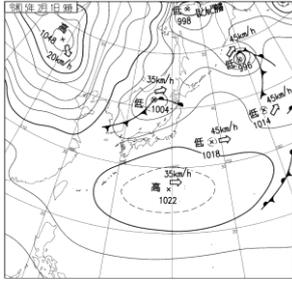
沖縄地方の平均気温は平年並で、降水量は少なく、日照時間は平年並だった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	18.1	-0.1	0	0.5	2	--	33.2	106	0
名 護	17.5	0.0	0	0.0	0	--	30.1	100	0
久米島	18.2	0.0	0	3.0	8	--	30.5	110	0
南大東島	18.2	-0.5	0	10.5	54	0	18.1	47	-
宮古島	18.4	-0.9	0	35.5	86	0	13.1	44	-
石垣島	18.5	-1.6	-	36.0	77	0	8.3	27	-
西表島	18.3	-1.4	-	19.5	37	-	11.4	40	-
与那国島	18.1	-1.6	-	16.5	36	-	11.8	56	0
沖縄地方		-0.8	0		35	-		69	0

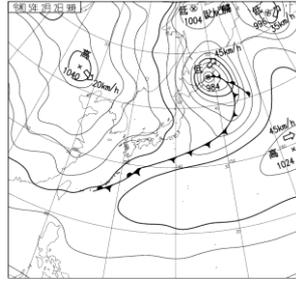
表の(注)は、前頁と同様

日々の天気図（午前9時）・気象概況

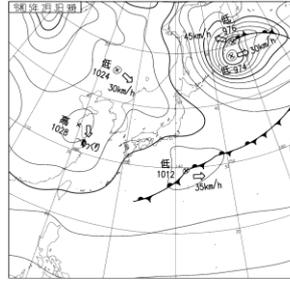
2023年2月1日～2月16日



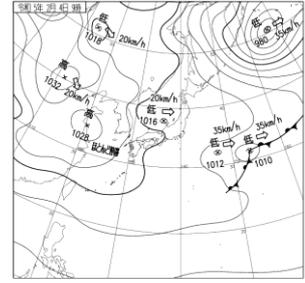
2023年2月1日
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は高気圧のへりにあたる。



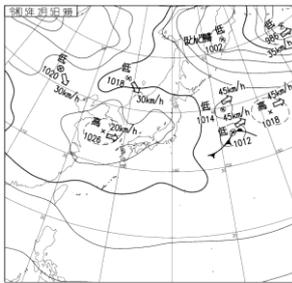
2月2日
前線の影響を受ける。



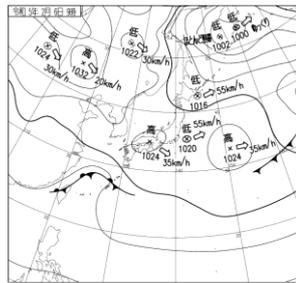
2月3日
沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



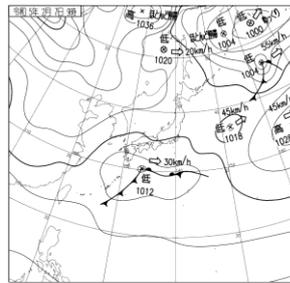
2月4日
気圧の谷の影響を受ける。



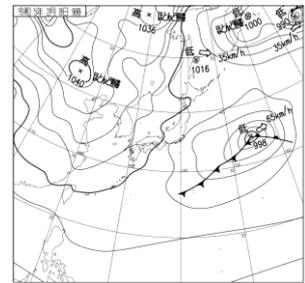
2月5日
気圧の谷の影響を受ける。



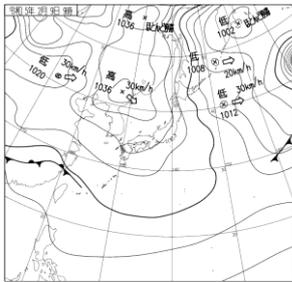
2月6日
前線の影響を受ける。



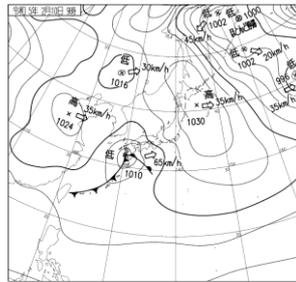
2月7日
沖縄本島地方と先島諸島は高気圧のへりにあたる。大東島地方は前線の影響を受ける。



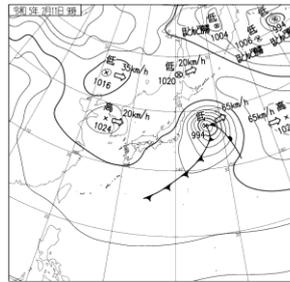
2月8日
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は高気圧のへりにあたる。



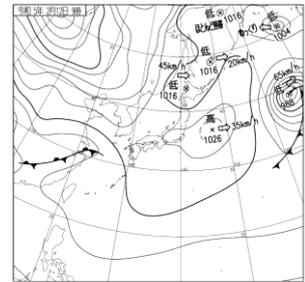
2月9日
気圧の谷や前線の影響を受ける。



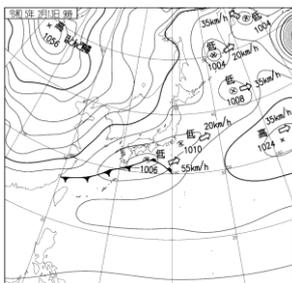
2月10日
前線の影響を受ける。



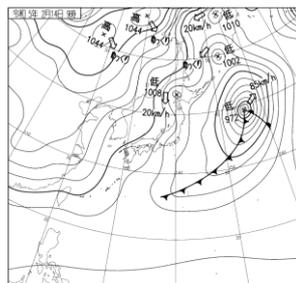
2月11日
沖縄本島地方は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



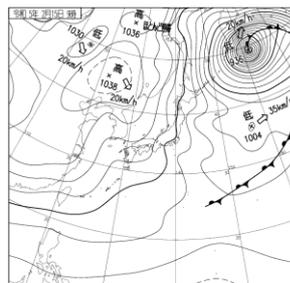
2月12日
沖縄本島地方は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



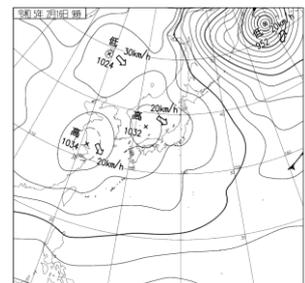
2月13日
沖縄本島地方と先島諸島は前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



2月14日
大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



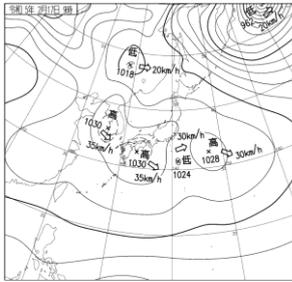
2月15日
大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



2月16日
大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。

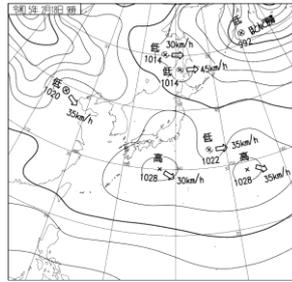
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2023年2月17日～2月28日



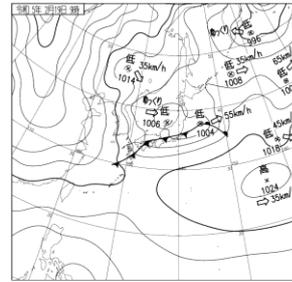
2月17日

沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と先島諸島は高気圧のへりにあたる。



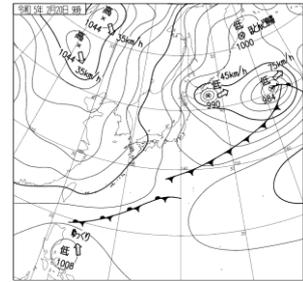
2月18日

沖縄本島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。大東島地方は高気圧のへりにあたる。



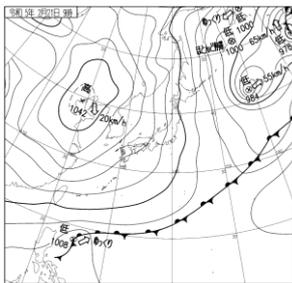
2月19日

気圧の谷や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



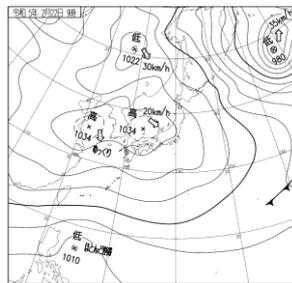
2月20日

気圧の谷や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



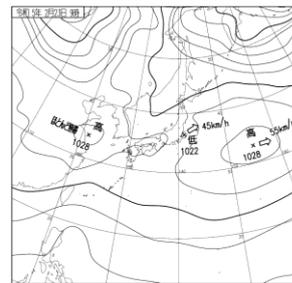
2月21日

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



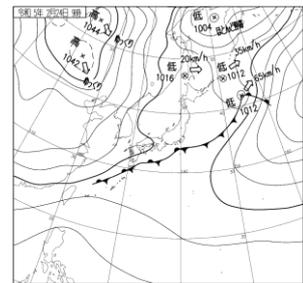
2月22日

気圧の谷の影響を受ける。



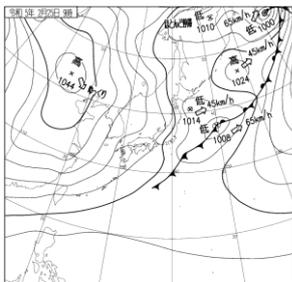
2月23日

気圧の谷の影響を受ける。



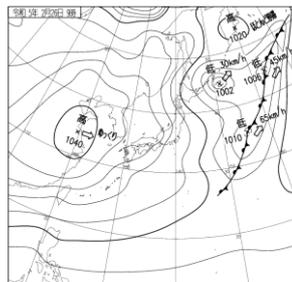
2月24日

前線の影響を受ける。



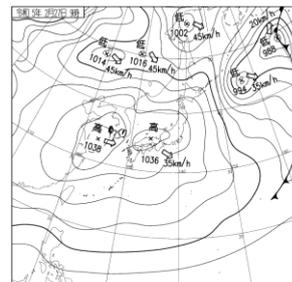
2月25日

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



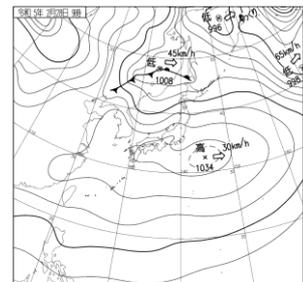
2月26日

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



2月27日

気圧の谷の影響を受ける。

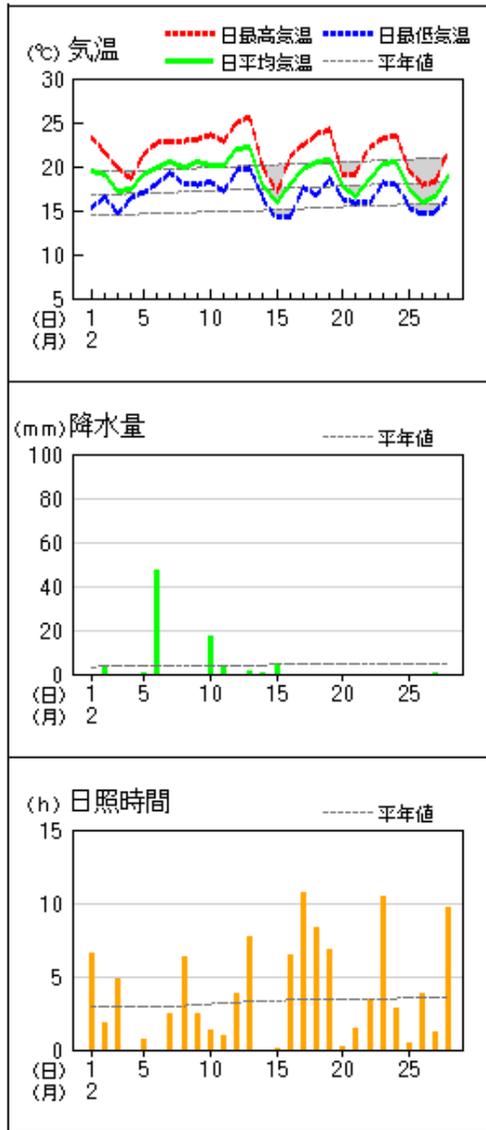


2月28日

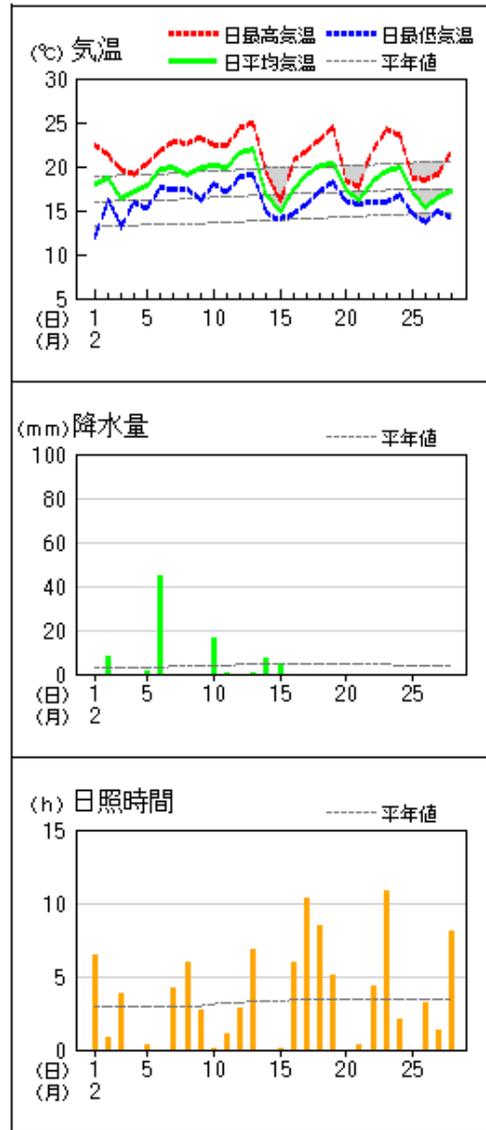
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。

地上気象 気象経過図：2023年02月01日-2023年02月28日

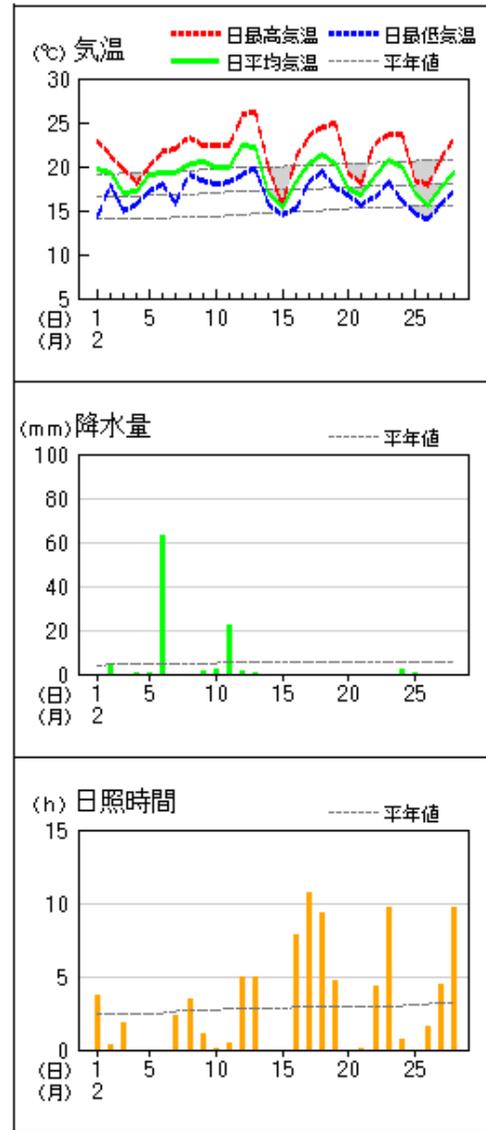
那覇



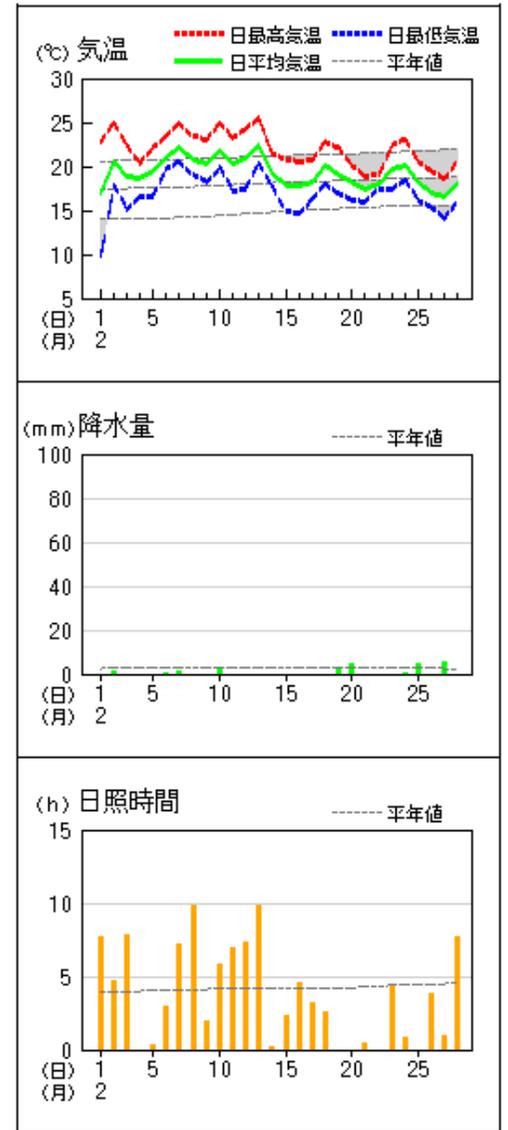
名護



久米島

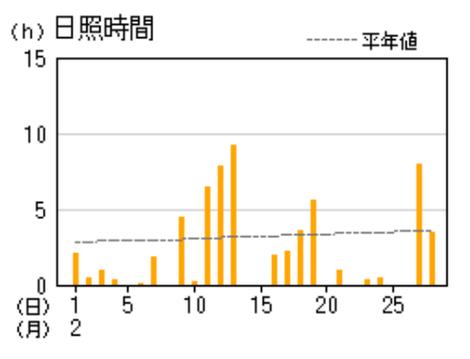
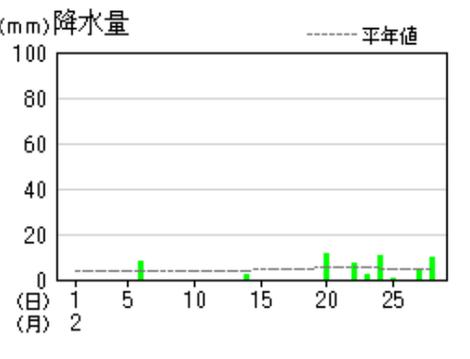
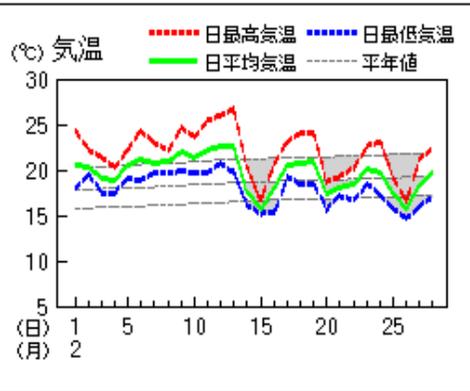


南大東（南大東島）

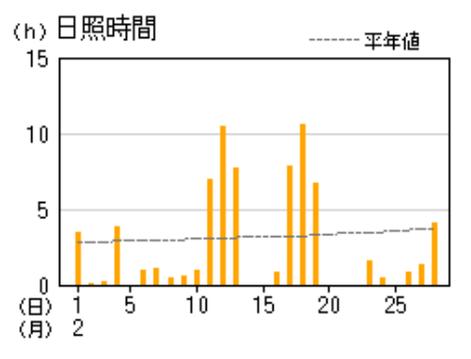
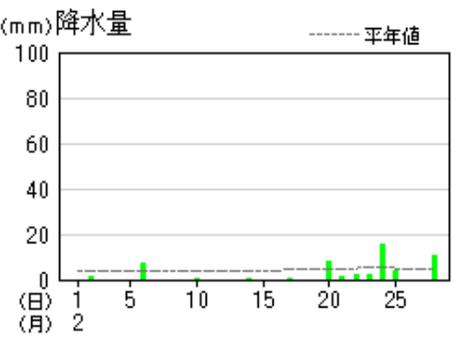
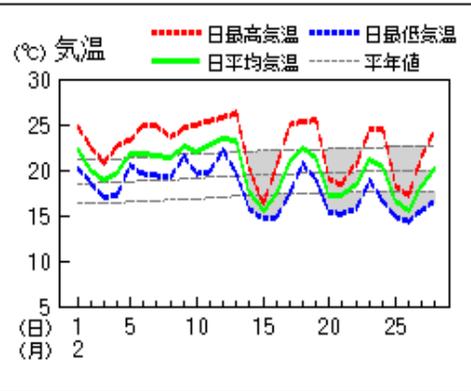


地上気象 気象経過図：2023年02月01日-2023年02月28日

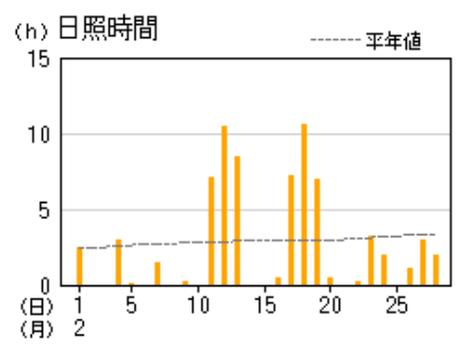
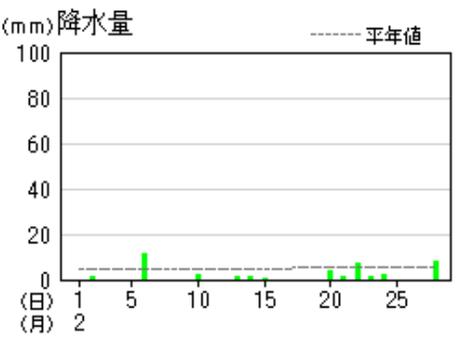
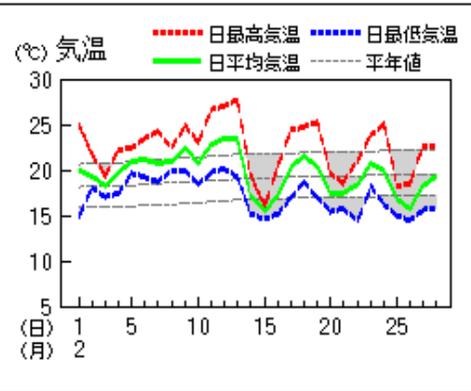
宮古島



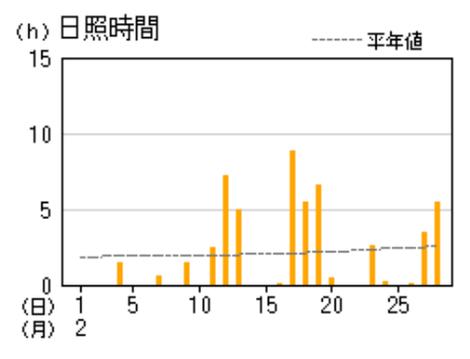
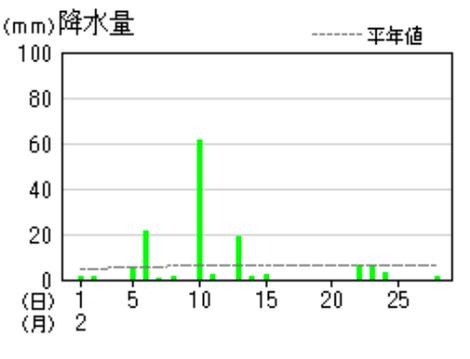
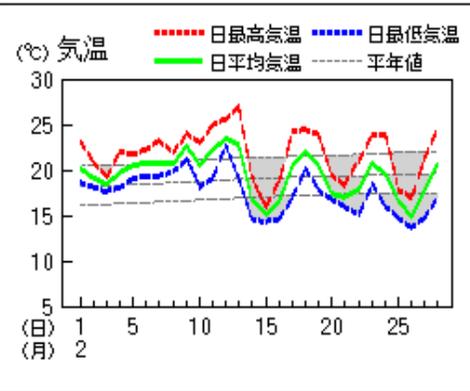
石垣島



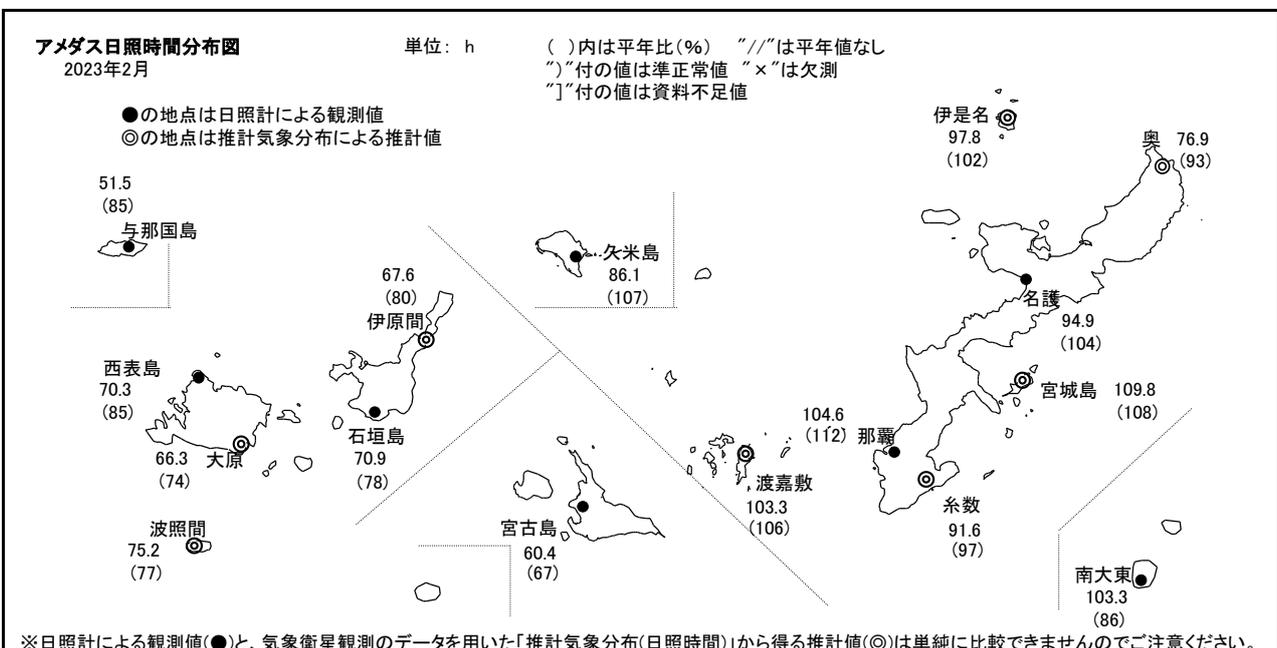
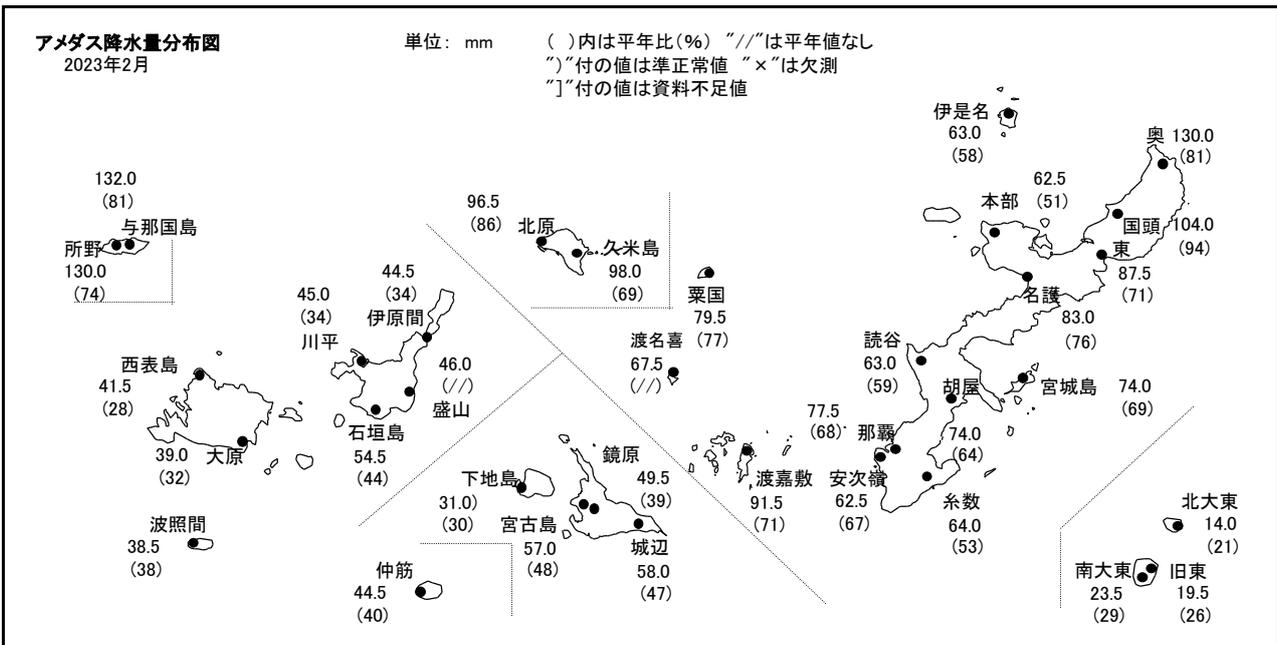
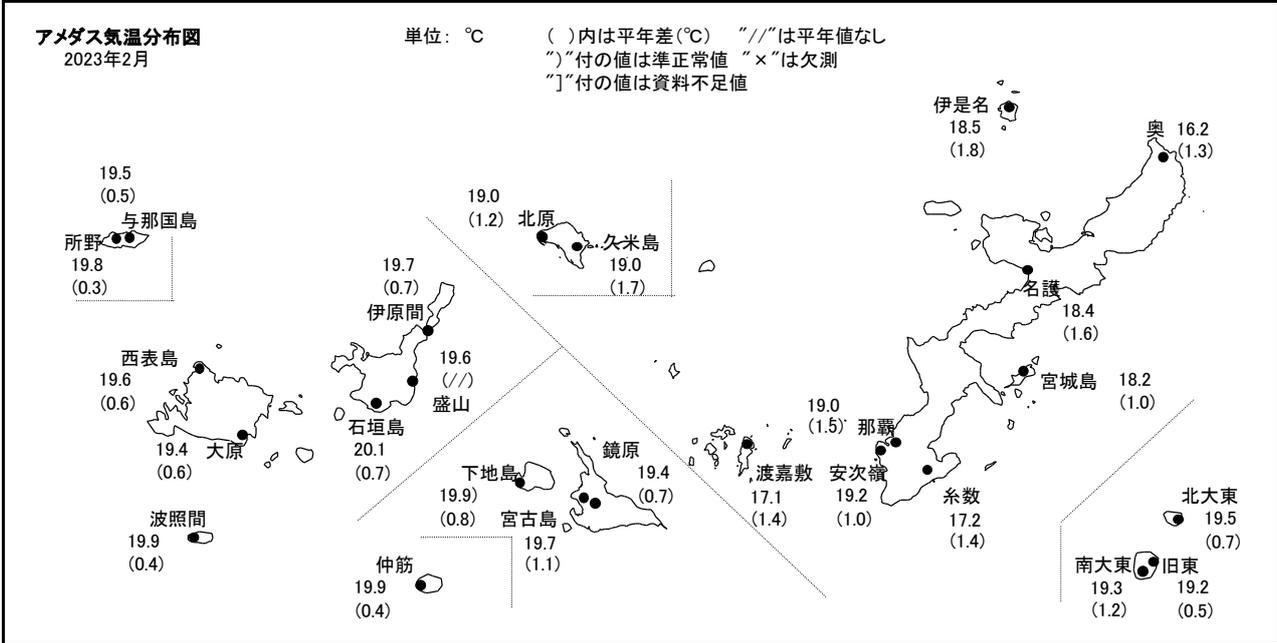
西表島



与那国島



アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



※日照計による観測値(●)と、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布(日照時間)」から得る推計値(◎)は単純に比較できませんのでご注意ください。

・統計期間が短いため、平年値がない地点があります。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2023年2月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値(観測日・月)	
名護	月平均気温の高い方から（℃）	18.4	2023年2月	3	19.2*	2019年2月
西表島	月降水量の少ない方から（mm）	41.5	2023年2月	1	44.6	1962年2月

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：同一期間内に極値となる値が2つ以上現れた場合は、観測日（月）の新しい方を極値としています。

注4：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値(観測日・月)	
鏡原	月降水量の少ない方から（mm）	49.5	2023年2月	1	56.5	2018年2月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点及び要素は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：同一期間内に極値となる値が2つ以上現れた場合は、観測日（月）の新しい方を極値としています。

生物季節観測表

2023年2月

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
植物								
石垣島	さくら（ひかんざくら）	開花	2月3日	1月18日	1月27日	+16	12月19日	2月20日
宮古島	さくら（ひかんざくら）	満開	2月3日	2月9日	2月8日	-6	1月23日	3月2日
南大東島	さくら（ひかんざくら）	開花	2月7日	1月20日	1月28日	+18	1月4日	2月9日

注：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。

冬の天候

2022年12月～2023年2月

天候経過

沖縄地方は、12月前半は低気圧や前線の影響で、12月後半以降は気圧の谷や寒気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。1月と2月中旬は、高気圧に覆われる時期があったため、この時期としては晴れた日が多かった。

沖縄地方の冬の平均気温は、気温の変動が大きい時期があった。12月後半と1月下旬は強い寒気の影響を受けた一方、1月中旬や2月前半などは暖かい空気に覆われやすかったため、地域平均平年差は+0.3℃で高かった。冬の降水量は、12月は前半中心に低気圧や前線の影響で多かったが、1月と2月は低気圧や前線の影響を受けにくく、まとまった雨がなかったことで少なくなり、地域平均平年比は102%で平年並だった。冬の日照時間は、1月は多かったが、12月はかなり少なかったことから、地域平均平年比は91%で少なかった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

【2022年12月～2023年2月】

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	18.4	+0.5	+	343.0	107	0	314.1	106	0
名護	17.7	+0.5	+	317.5	103	0	292.7	99	0
久米島	18.3	+0.5	+	378.5	93	0	237.2	96	0
南大東島	19.2	+0.6	+	431.5	158	++	324.9	89	-
宮古島	19.2	+0.2	+	450.0	114	+	222.2	82	-
石垣島	19.7	+0.1	0	309.5	75	-	218.5	81	-
西表島	19.3	+0.1	0	510.0	106	0	188.1	83	-
与那国島	19.3	+0.1	0	651.0	119	+	155.3	90	0
沖縄地方		+0.3	+		102	0		91	-

(注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(多い)、+：高い(多い)、0：平年並、

-：低い(少ない)、--：かなり低い(少ない)

2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。

3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年差(比)の平均値を示す。

4. “)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

5. “)”付きの値は資料不足値(統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている)を意味し、階級についても値と同様の品質である。

6. “X”は欠測を意味する。

7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。

8. 平年値の統計期間は1991～2020年である。